

黒は一層濃く、カラーはより鮮やかに発色するゲルインクボールペン
“ノート、くっきりキマる。”『uni-ball one (ユニボール ワン)』シリーズより限定軸色

『uni-ball one F』

夏の景色を連想させるリラックスカラー

7月19日(火) 数量限定発売

三菱鉛筆株式会社(本社:東京都品川区 社長:数原滋彦)は、黒は一層濃く、カラーはより鮮やかに発色するゲルインクボールペン“ノート、くっきりキマる。”『uni-ball one(ユニボール ワン)』シリーズの軸色や書き味の上質感を高めた『uni-ball one F(ユニボール ワン エフ)』から、夏の景色を連想させる5種のリラックスカラー(参考価格 330円:税抜 300円/インク色:黒/ボール径:0.38mm、0.5mm)を7月19日(火)に数量限定で発売いたします。

今回新発売する軸色は、くすみ色をベースとした夏のリラックスカラーです。近年の癒やしや安らぎに対する意識の高まりを受けて、時の経過を感じさせる落ち着いた色合い(フェイデッドカラー)で、何げない夏の情景を軸デザインで表現しました。

軸の色みだけでなく、軸色名も、情緒的な感性に共感していただけるような夏の空気感のある自然の風景から採用しました。

『uni-ball one F』は、テーマ性のある軸色と、低重心で安定した書き味が特長で、2021年9月の発売以来好評を博しています。FはFeel(感じ取る、感覚)を意味しています。

軸全体のデザインは凹凸部分を極力減らしたなめらかなフォルムで、先端の金属パーツのワンポイントがシンプルさを際立たせ、洗練された印象を残します。

さらに、ペン先の金属パーツは見た目のスタイリッシュさだけではなく、低重心で安定した書き味を生み出す「スタビライザー機構」を搭載しており、『uni-ball one』最大の特長である「濃くくっきり」した黒インクを、軽い力でも安定してなめらかに書くことを実現しています。



『uni-ball one F(ユニボール ワン エフ)』 限定軸色

左から、笹笛(Fカーキ)、白砂(Fエクリュ)、箒星(Fシーフォグ)、夕月夜(Fライラック)、蜃気楼(Fベージュ)

【商品特長】

■夏の情景を表現した軸色

近年の癒やしや安らぎに対する意識の高まりを受けて、夏を感じるリラックスカラーを取り入れた5種の軸色をラインアップいたしました。それぞれの軸色名は、使う人に情緒的な感性を共感していただけるような、ささやかな日常の景色から採用しました。

・白砂

初夏の美しい海岸に広がる白い砂浜を表現した軸色です。

白砂 シラスナ
faded ecru



季節の記憶と静かな波音を残して
うすれゆく足音と砂の温度。

・箒星

流れ星が一瞬で空に消えていく余韻を表現した軸色です。

箒星 ホウキボシ
faded seafog



願いも間に合わず
消えた流れ星
まぶたに残った光の余韻。

・笹笛

川のせせらぎが聞こえる中、涼しい風になびいている笹の葉を表現した軸色です。

笹笛 ササブエ
faded khaki



緑が香る川のほとり。
子どもの声と交わる音色に
安らくひととき。



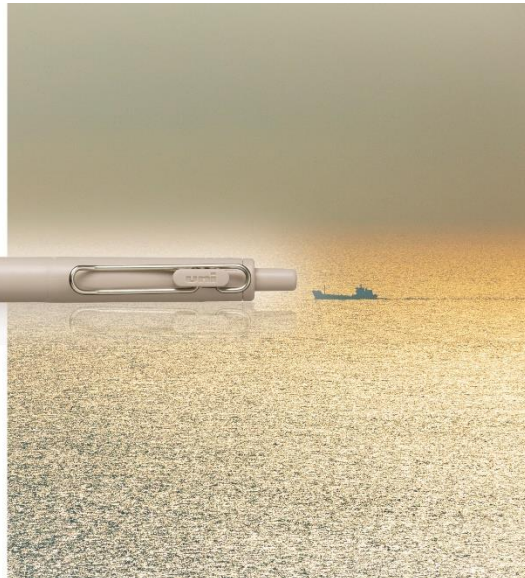
・蜃気楼

夏の夕暮れに現れる蜃気楼を表現した軸色です。

蜃気楼 シンキロウ
faded beige



ゆらゆら見える水平線。
まだまだ明るい一日に期待がふくらむ時間。



・夕月夜

月が浮かぶ夏の夕空を表現した軸色です。

夕月夜 ユウヅキヨ
faded lilac



帰り道の車窓から
見上げた空の彩りに
明日の天気を占う。



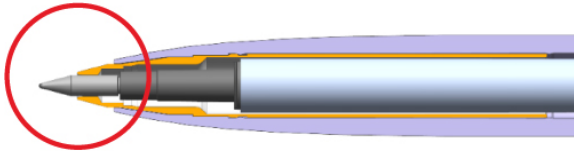
■シンプルでより洗練された軸デザイン

- ・軸の素材を後軸と先軸で統一し、段差(凹凸)を限りなく減らしたなめらかなデザインです。
- ・先軸を長くすることで、先端までの流線形がよりなめらかになり、全体としてすっきりした印象を与えています。

■低重心で安定した筆記を実現した「スタビライザー機構」搭載

- ・リフィルを保持する先軸に寸法精度を高めた金属製のペン先を採用しており、低重心で安定した、よりなめらかな書き味を実現しています。軽い力で安定してスラスラ書くことができるため勉強やメモ書きのみならず、日記などにも適しています。
- ・快適な書き心地だけでなく、ワンポイントの金属製のペン先がデザインのシャープさを際立て、より洗練された上質な印象を与えます。

『uni-ball one F』金属製のペン先



ペン先に金属パーツを内蔵しています。
左図(ペン先断面図)のオレンジ色の部分が金属パーツを使用している部分です。

『uni-ball one』従来品の樹脂製ペン先



【商品概要】

商品名	uni-ball one F(ユニボール ワン エフ)
品名	UMN-SF-38
軸色	白砂(F エクリュ)、箒星(F シーフォグ)、笹笛(F カーキ)
インク色	黒
ボール径	0.38mm
参考価格	1本 330円(税抜 300円)

商品名	uni-ball one F(ユニボール ワン エフ)
品名	UMN-SF-05
軸色	蜃気楼(F ベージュ)、夕月夜(F ライラック)
インク色	黒
ボール径	0.5mm
参考価格	1本 330円(税抜 300円)

【ご参考】『uni-ball one(ユニボール ワン)』について

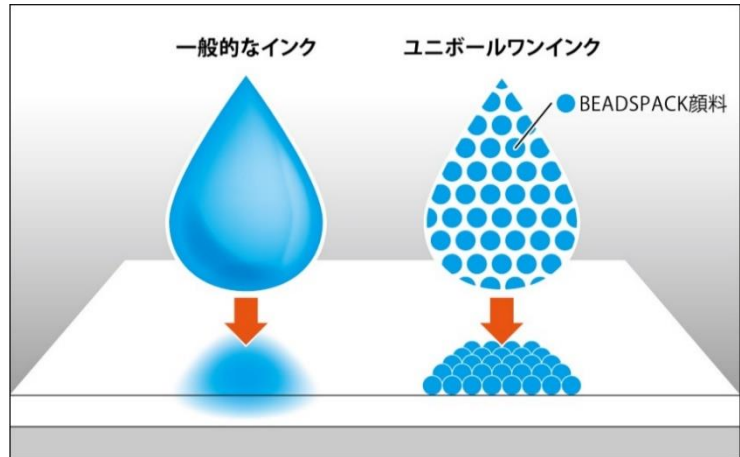
2020年2月に新発売した、“ノート、くっきりキマる。”『uni-ball one』は、“濃くくっきり書ける”という機能や、“生活空間に溶け込むシンプルさ”というデザイン性により、学生から社会人までの幅広い層から好評を得ています。

■新開発の「ユニボール ワンインク」の特長

『uni-ball one』のインクは、一般的なゲルインクと異なり、色材の紙繊維への浸透を極力抑える、新しい顔料を使用しています。

「ユニボール ワンインク」に使用している顔料は、従来の色材を粒子中に閉じ込めた独自開発のビーズパック顔料です。

インクの色材となる顔料を粒子中に閉じ込め、粒子のサイズを大きくすることで、色材の紙面への浸透を極力抑えます。それにより、紙面上の色材が本来の色を発色し、黒はより濃く、カラーはより鮮やかに発色します。



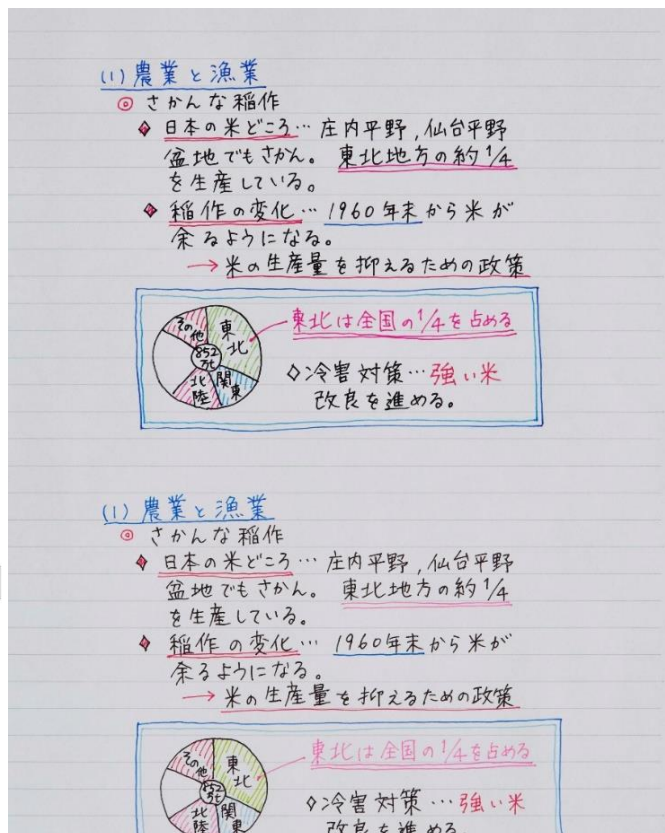
① 黒は一層濃く、カラーはより鮮やかに発色し、記憶に残りやすい、くっきりキマる文字が書ける

一般的なゲルインクと比べて、黒色はより一層濃く発色します。

当社と立命館大学との共同研究により、黒色に関して、濃く、くっきりとした文字ほど記憶に残りやすいことが分かりました。一般的なゲルインクよりも濃い『uni-ball one』を使用することで、ノートを見返したときに印象に残りやすい文字を書くことができます。



従来品と『uni-ball one』濃さ比較

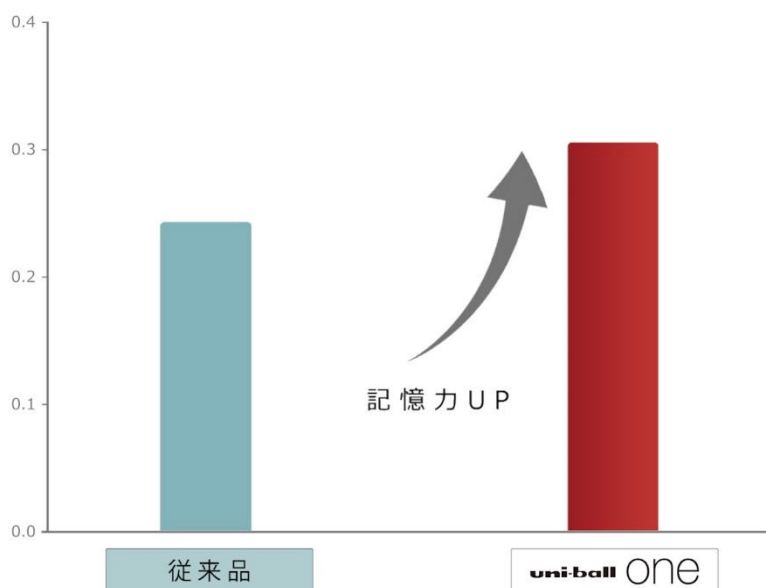


上段が『uni-ball one』、
下段が従来品を使用して筆記したノート例

<立命館大学との共同研究について>

立命館大学総合心理学部 服部雅史教授監修の下、高校生を対象に認知心理学の実験手法である「記憶再生課題」を行いました。濃淡の違うボールペンで手書き文字の記憶成績を比較したところ、『uni-ball one』の濃い黒インクで書いた文字の方が一般的なゲルインクと比べて正答率は高く、再生率が高いという結果を得ました。

この研究結果については、日本基礎心理学会第 38 回大会にて報告いたしました。



<実験監修> 立命館大学総合心理学部 服部雅史教授

② にじまず、速乾性の高いインク

一般的な速乾性インクは、紙面へのインクの浸透を速くすることで速乾を実現しています。そのため、インクのにじみや裏抜けが起こることがありました。

新開発の「ユニボール ワンインク」は、インク内の固形と液体の成分比を変えることで、液体成分を素早く紙面へ浸透させながらも、固形分である色材を紙面に残すことを可能にしています。紙面への浸透が速い速乾性インクでありながら、色材が紙面に吸収されるのを抑えるため、にじまず、裏抜けしません。

■ シンプルでストレートな軸デザイン

軸デザインはシンプルでストレートな形状です。オーバル形状の「オープンワイヤークリップ」は、スタイリッシュなデザイン性に加え、ノートや手帳に挟みやすい可動式のクリップとなっており、機能性も兼ね備えた仕様です。

<報道関係 お問い合わせ先>

三菱鉛筆株式会社 経営企画室 広報担当 飯野、中山
TEL 03-3458-6222/FAX 03-3458-6217

※ 商品に関するお問い合わせは「三菱鉛筆お客様相談室」でお受けしています。TEL 0120-321433